

平成 30 年度 第 1 回環境計画推進パートナーシップ会議 議事録（発言要旨）

- 開催日時: 平成 30 年 7 月 27 日(金) 10:00~12:00
- 開催場所: 西宮市役所 本庁舎 6 階 681 会議室
- 出席委員: 小川会長、清水副会長、樋口委員、大谷委員、那須委員、野村委員、田邊委員、花田委員、西明委員、柳生委員、石川委員、栗本委員、
- オブザーバー: 須山オブザーバー、北田オブザーバー、大和オブザーバー
- 事務局: (環境総括室) 廣田室長
(環境事業部) 田中(義)部長
(環境施設部) 野田部長
(公園緑化部) 伊藤(泰)部長
(環境学習都市推進課) 岩田課長、吉田係長、八木係長、田中(裕)係長、藤原副主査、伊藤(大)主事、松井主事
(美化企画課) 森川課長、加羅係長、吉岡係長
(施設管理課) 小西課長
(みどり保全課) 岸本課長、山本副主査

開会の挨拶

- 組織改正に伴う事務局の構成変更及び、人事異動に伴う新委員と事務局の新職員紹介をする。(事務局)
- 1. 第 3 次環境基本計画の素案について
 - 望ましい環境像・環境目標のデザインが見にくく、環境目標の全体像が把握しにくいデザインとなっている。今までのデザインの方がわかりやすく良いのではないか。(委員等)
 - P7、P8 の「これまでの西宮の環境の歩み」が以前に比べ、すっきりとしてわかりやすくなった。(委員等)
 - 2010 年代のその他の欄に「西宮市役所 ECO プラン - 第三次西宮市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)-」と書かれている。事務事業編と明記することによって、市役所だけの取り組みと受け取られ、市民の取り組みとしてのイメージが湧きにくいのではないか。市民が身近に感じる低炭素に関する計画名を選んで載せてはどうか。(委員等)
 - 2000 年代のその他のところに、「持続可能な地域づくり ECO プラン (区域施策編)」として掲載している。現在改定作業を進めており、区域施策編と統合し再生可能エネルギー・省エネルギー推進計画をなくす方向にあるため、こちらには掲載せずに 2000 年代の区域施策編だけを残す形にした。(事務局)
 - 統合しなくなるから載せないのではなく、やったことを載せてないとやっていないと思われるのではないか。(委員等)
 - どの計画を統合したのかという説明ができるので、載せておいたほうが良いのではないか。(委員等)
 - 掲載する方向で検討する。(事務局)

- 2月の素案には「西宮市宮水保全条例」が書いているが、今回の素案には書かれていない。(委員等)
- 掲載するスペースの関係上、重複する内容については削除した。P8からは削除したが、P29の生物多様性のコラムに市民の方に親しみやすい形で掲載している。(事務局)
- 掲載するものを選択する要素として、歴史的事実や重要な出来事となる要素については、多少重複しても残しておいた方がよいのではないかと。今までになかった保全条例ができたのであれば、水質保全という点では宮水の保全というのは基礎となる環境課題でもあるので入れてはどうか。(委員等)
- デザインや他との兼ね合いも考え検討する(事務局)
- 2月の素案では賞味期限と消費期限の説明があったが、今回の素案には載っていない。P25のコラムに「賞味期限を正しく理解し」と書いてあるが、これは自分で調べて理解しなさいということなのか。簡単にでも説明を入れた方がいいのではないかと。(委員等)
- ページの都合で割愛した部分ではあるが、簡単にわかるように記載する方向で検討する。(事務局)
- 今回の素案では、P9やP18に会話形式のイラストが入りわかりやすくなったが、事務局の方が編集されたのか。(委員等)
- 事務局でアイデアを出し、コンサルタント会社と連携し作成した。(事務局)
- P9とP18のイラストの年齢が違うというところで多様性を考えられたと思うが、会話文の順番がどちらも男の子、女の子の順になっているので、どちらかの会話の順番を変えてはどうか。(委員等)
- P25の絵の吹き出しに「これで51g達成！」となっているが、51gの削減達成ではないかと。51g達成だと違う感じに捉えられるので、削減と入れた方がよい。(委員等)
- P21からの環境目標の取り組みのところに説明は書いてあるが、市民は市、行政は行と一文字ずつの説明が書いてあるが、普通は市と書いてあると西宮市である。市を市民と一言で略語とするのは無理があるのではないかと。(委員等)
- 修正する。(事務局)
- P30の指標の活動参加人数を、85,000人としているが、今後10年間で西宮市の人口は増えるのか。(委員等)
- 減少していくと思われる。(事務局)
- 人口が減少するなか、高い目標値であるから、学校現場を巻き込む必要があるのではないかと。人口減少や高齢化が進むので参加を呼びかけるだけではなく、若い方の参加を促すようなしくみが必要だと思われる。(委員等)
- 教員研修時に、県の方から「クリーンアップひょうごキャンペーン」に取り組んでいる学校の参加者数について報告をするようにと教育委員会の環境教育担当の先生が言っていたが、学校内清掃だけなのか。(委員等)
- 地域清掃も入っている。平日に行う場合は授業等の関係、また土日祝日に行う場合は教員の勤務の都合や参加体制のこともあり、いろいろと課題がある。一般的に多いのは、わがまちクリーン大作戦等で、清掃活動等を通じて地域に貢献できればという関わり方をしているが、小学生はそれぞれの家庭にいる日に組織立てて集めてという形は難しい。(委員等)
- 地域福祉の観点から言えば、わがまちクリーン大作戦だけであればいいが、ふるさとウォークも含めて、「まちをより良くする地域参画の活動参加人数」として一括りにしてしまうには指標としては

いかなるものか。もう少し上手な指標の出し方があるのではないか。(委員等)

- 持続可能な地域づくり市民活動カードがあるが、それはテーマを限定せずに、地域社会に貢献・参加するとスタンプがもらえる。福祉、防災、クリーンアップ大作戦でもよく、活動に幅があり持続可能な地域づくりという枠組みとなっている。まちをよりよくする地域参画の活動参加人数となってくると、入口を大きくした割に絞った活動になっているという印象がある。どの基準でどのような活動を対象にして選定するか決めた方が誤解されないのではないか。(委員等)
- わがまちクリーン大作戦だけでいいのではないか。(委員等)
- 参加人数にすると人口減になっていった時に、参加率が上がっても参加人数は減っていくこともあり、表現に工夫をする必要がある。(委員等)
- わがまちクリーン大作戦は自治会単位で行っているので把握しやすいが、他の活動は類似したイベントもあり、自治会以外の一般の団体のため、把握しにくいのではないか。(委員等)
- 検討する。(事務局)
- 環境目標の指標を掲載する場所が統一されていない。配置を整えた方がいいのではないか。(委員等)
- 検討する。(事務局)
- P1の「望ましい環境像」で市民の生活に低炭素が直結している項目があるのか。市民の方としては、節水や節電は資源循環のところに意識が向かうのではないか。(委員等)
- このページはワークショップで出た意見を載せたという体裁になっているので、ワークショップで低炭素につながる意見がでていれば掲載したらいいのではないか。意見が出ていなければ、無理に入れるのは難しいと思われる。(委員等)
- パートナシップ会議などで出てくる意見なども加味し、望ましい環境像を示すべきではないか。低炭素に結びつく望ましい環境像を示してはどうか。(委員等)
- 検討する(事務局)
- 低炭素の要素と資源循環の要素を混在させるとわかりにくいため、それぞれ分けて考えた方がよいのではないか。(委員等)
- P4に低炭素はP21〜と表示されている。すべてをわかるように表示しなくても、基準値をスタンダードなレベルより少し上に合わせ方がクオリティが高くなる。低炭素のところの説明をしているので、このままでいいのではないか。(委員等)
- 検討する(事務局)
- 安全・快適の部分で、環境保全の分野が弱いのではないか。公害があった時代には、典型7公害と言われる大気・水質・騒音などが守られて初めていろいろな環境問題に目が向いてきた歴史があるが、今は土台となる環境(大気・水質・騒音など)が一般的に保全されているために関心が薄くなっている。市民の意識をもう一歩前に後押しできるような仕掛けがあればよいのではないか。(委員等)
- 指標に一つの活動を取り上げるとおかしくなるので、指標を削ってはどうか。わがまちクリーン大作戦の参加人数は、年に2回開催しているので7万人は延べ人員である。50万人の市民に対し7万人の市民が参加しているのではなく、35,000人である。(委員等)
- 何か指標が必要ではないか。(委員等)
- まちの美化活動で学校の取り組みを安全・快適の指標として、採用してはどうか。一般市民が取り

組みを行うというのもあるが、中学生が部活動で取り組んでいるという部分もあるため、学校から地域に働きかけるという流れもあっていいのではないかと。もし採用するのであれば、まちを美化する活動にしぼって、みんなでまちをきれいにするという取り組みを採用してもいいのではないかと。(委員等)

- 典型7公害の時のように水や大気をキレイにするために努力するといっても、すでに完備されているので、市民が関わる部分が見えないのかもしれない。出た意見を踏まえて、何か残す方向で検討いただきたい。(委員等)
- 検討する(事務局)
- 内容はおおむねこれでいいのではないかと。市民に読みやすい内容となっているか、見てもらえるかという視点で絞り込んでいただくことと、次回の会議には「市長のことば」を載せたものを出してもらってみんなでまとめていきたい。(委員等)
- 本編(環境基本計画)と、その下に生物多様性の計画、エネルギーの計画、廃棄物の計画とあって、それぞれが関連しているというように、デザイン的にもある程度整合性がとれたものになっていないといけな。例えば統計資料を使用する際には、同じ統計資料を使用するなど、事務局で全部会の担当者が集まって、本編との整合をはかる作業をして、出来上がったものが関連しているように見えるように、計画が公表されるまでに整理してはどうか。(委員等)
- 調整する。(事務局)
- 安全・快適の「取り組み」の中に、地域コミュニティの活性化につながる記述がないのではないかと。キーワードとしては人の繋がりや、市民が自分で作っていくという意識が導入文の方に記述はあるが、「取り組み」のところにはない。「②人にやさしいまちづくりの推進」の文章もハードに感じる。繋がりやの価値が感じられるまちという視点が「取り組み」の中にあるといいと思う。(委員等)
- エココミの紹介は一行も入っていないので、入れてはどうか。(委員等)
- 参画・協働のところは、「パートナーシップ会議やエココミュニティ会議などにより」と記載があるが、具体事例が全く載っていない。個別の計画では活動事例を紹介し、地域の活動があることを対外的に見せることができると良いのではないかと。参画・協働のところは、もう少し活動事例を記載した方が、市民の参加があつて物事が進んでいくという印象付けになるかもしれない。また、各ページに一つずつ各地域団体の活動を紹介しますと、取り上げられた団体の人は見ると思う。(委員等)
- 検討する(事務局)

2. 環境まちづくりフォーラムについて

- 今年度はまちづくりフォーラムは開催せず、来年度に環境基本計画のお披露目の会という形でフォーラムを開くということでもいいのか。(委員等)

3. 各部会の報告について

- ・ エネルギー推進部会の報告
- ・ 生物多様性推進部会の報告
- ・ 廃棄物減量推進部会の報告
- 全体を見て、学びあい、参画・協働、国際交流・貢献という環境学習の根幹部分の取り組みが、指

標ではなく、理念としてうたわれているような格好になっている。環境学習都市宣言をしている西宮として、環境学習をどのように根付いたものとして実施されているかということ、パートナーシップ会議のメンバーが話せるようになりたいと思う。そういうトータルな指標が十分でないところが若干不安な要素である。(委員等)

- 西宮市の学校や保育所、幼稚園で取り組んでいる活動を計画の中にもちりばめていけたら、よいのではないか。市民目線での活動を取り上げて、つながりがわかるように、写真を多用して作ってもらえたらと思う。(委員等)
- 検討する。(事務局)

4. 連絡事項

- 次回会議 10月16日(火)10時より 本庁6階681会議室にて開催予定。
- 素案に対してのご意見は8月10日(金)まで。

以上